

音楽科学習指導案

日 時 平成 24 年 10 月 18 日 (木) 5 校時

学 級 2 年 B 組 (男子 12 名 女子 9 名計 21 名)

場 所 音楽室

授業者 教諭 小岩 貴子

1、題材名 鑑賞「ア カペラの合唱曲の魅力を感じ取ろう」

*花輪をかけよ (R.Lピアサル作曲) <鑑賞用 CD>

*ピレンツェの歌 (ブルガリア民謡 / クラシミール・キュルクチースキ作曲) <鑑賞用 CD>

*Soon-ah-will-be-done (黒人霊歌) ロバート・ショウ合唱団<ベスト・オブ・黒人霊歌>

2、題材について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領「2 学年及び第 3 学年」内容 B 鑑賞の (1) 鑑賞の活動を通して指導する事項であるア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」に関わる学習に焦点をあてて学習を進めていく。

共通事項として (1) ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素どうしの関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」の中から「音色」に焦点を当てる。声だけでつくる音楽の特徴として声の音色の違い、曲にあった発声などの違いがある。また、曲によっては同じ歌い方ではなく、例えば「柔らかい」音色と「硬い」音色を使い分けたりすることもある。今回はその違いを聞き取らせたい。

ア カペラの合唱といっても「混声」「女声」「男声」などの合唱形態がある。また、伝統的な教会の音楽からゴスペル、民族音楽、現代の合唱曲、ポップスまでジャンルも幅広い。今回はその中から、中世ルネッサンスの教会音楽から混声合唱とブルガリアン ポリフォニー (女声合唱)、黒人霊歌 (混声合唱) を鑑賞する。それぞれの共通点は「祈り」であるがその気持ちを伝える声には独特のものがある。比較聴取することにより、その特徴を感じ取らせ「自分の 1 曲」を選ばせたい。

なぜその曲をよいと感じたのか、根拠を持って説明する批評文を書かせたい。

(2) 指導観

ア カペラで合唱をする経験は、今まで合唱曲の伴奏を入れなくて歌うという形で体験してきた。今回、文化祭の課題曲で一部ア カペラになる曲を歌わせたことにより、声の重なりで音楽をつくる楽しさや難しさを味わった。

また、昨年の芸術鑑賞教室でポップスのア カペラグループの演奏を聴いて、声だけで作る音楽の素晴らしさも体感している。

批評文を書くという体験は 1 学期に編曲について学んだ時に 1 回行った。元の曲と編曲された曲を比較し、いくつかの編曲された曲を聴き比べ自分の好きな 1 曲を選んだ根拠をもって説明する批評文を書くことを体験した。ヒントとなる言葉を黒板に提示することにより、うまく音楽的要素を盛り込んだ批評文を書く事ができた。また、自分と同じ曲を選んだ人たちと意見交換するグループ活動を取り入れ、感じ方にも多様性があることを体験した。

今回も同様に、音楽的要素を使って書くという活動とグループで曲のよさを意見交換することで言語活動の充実を図りたい。

3、題材の目標

- (1) 音楽を形づくっている要素や構造を感じ取る。
- (2) 自分なりに感じたことを他者に客観的な理由をあげて説明する。

4、題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの教材曲それぞれの音色と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・ 音楽的要素を用いて根拠を持って批評文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの教材曲それぞれの音色を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりし、言葉で解説したり批評文を書いて音楽を味わって聴いている。

5、題材の指導計画（2時間）

時	内容及び学習活動	評価規準項目	共通事項
1	◆ア カペラの合唱曲からそれぞれの声（発声）の特徴を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の合唱曲のア カペラ部分を歌い、ア カペラとはどのような音楽の形であるのか学ぶ。（ワークシート） ・ 3つのア カペラ合唱曲を数回、繰り返して聴き比べ、それぞれの特徴をメモしながら感じ取る。（ワークシート） A・ ・声部が溶け込んだ、透明感のある混声合唱の発声 B・ ・民族音楽独特の地声発声 C・ ・力強い混声合唱の発声 ・ 合唱曲の曲名やジャンルを知り、特徴をまとめる。（ワークシート） 	鑑賞ア	音色
本 時	◆曲を比較聴取し、選んだ曲の知覚・感受を深める学習に主体的に取り組む。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのア カペラの曲を聴き比べ、自分の1曲を選び批評文を書く。（ワークシート） ・ 批評文を交換して読んで他の意見から、同じ曲でも感じ方が同じところもあれば違うところもあるということに気づく。（他の人のワークシートに同じ感じ方であれば青、違う感じ方であれば赤のシールを貼る） ・ 曲のどの部分のどんな声の部分がよいと感じたのか同じ曲を選んだ人で曲を聴きながら話し合う。 ・ 他の曲を選んだグループの発表を聞き、他の曲のよさを確認する。 ・ 他のア カペラ曲を聴き、声だけでつくる音楽の素晴らしさを確認する。 	鑑賞ア	音色

6、本時について

(1) 指導の目標

3つの合唱曲の中から1曲を選び、根拠をしめす音楽的要素を使った批評文を書く。

(2) 本時の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の総意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
・音楽的要素を用いて根拠を持って批評文を書こうとしている。			・3つの教材曲それぞれの音色を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりし、言葉で解説したり批評文を書いて音楽を味わって聴いている。

(3) 本時の構想

本時では、集中して音を聴く活動を大切にするとともに、感じ取ったことをできるだけ自分の言葉で書けるようにさせたい。黒板にはいくつかヒントとなる用語を並べて張りだしている。書くきっかけとして使えるように考えた。

また、同じ曲を選択した人とグループになり、批評文を交換して読むことでお互いの感じ方の違いを学ぶことができると考えている。

(4) 本時の展開

段階	学習内容・学習活動	留意点（評価）
導入 10分	<p>1、ア カペラとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア カペラの意味を確認する。（無伴奏で歌うことを意味すること） <p>2、3つの合唱曲の特徴の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのア カペラ合唱曲を再び聴いて特徴を確認する。（合唱の形態、発声の仕方、曲のジャンル等） <p>*花輪をかけよ 混声 8 部合唱。透明感のある発声による純正調のハーモニー。神への祈り。</p> <p>*ピレンツェの歌 女声合唱。ストレートな地声が生み出す力強い表現。声と声がかぶつかり合う独特な響き。ブルガリア民謡。作物がよく育つようにと祈りの歌。</p> <p>*Soon-ah-will-be-done 混声 4 部合唱。黒人霊歌。苦しみや悲しみを訴える力強い響き。</p> <p>音楽的要素を使って曲のよさを伝える文章を書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙版書 ・曲名とジャンルの提示
展開	<p>3、批評文を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の1曲を選ぶ ・選んだ曲ごとに分かれる。 ・選んだ曲をグループごとに再び鑑賞し、批評文を書く。 <p>*教室の隅に分かれて CD デッキを使い、自分の選んだ曲を2回かけ終わるまでに批評文を仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を持って選ばせる ・ヒントとなる言葉の提示（黒板に貼る） <p>評) 音楽的要素に関わる内容を入れた文章になっている</p>

<p>展開</p> <p>40分</p> <p>終末</p>	<p>4、批評文の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ曲を選んだ人で集まって、批評文を回し読みする。 (同じ感じ方のところに青いシール、違う感じ方のところに赤いシールを貼る) ・曲のどの部分のどのようなところがいいと思ったのか、曲をかけながら意見交流する。 ・グループの批評文をもっともまとめた内容である代表の人を一人選び、発表してもらう。 ・同じ曲を選んだ人の批評文を読んだ感想を発表する。 ・他の曲を選んだ人の批評文を聞いた感想を発表する。 <p>5、他のア カペラ合唱曲を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「ほたるこい」・・・女声合唱の華やかで美しい響き。エコーのような効果のある曲。 * 「So Much 2 Say」・・・男声合唱のポップス。息の合ったスピード感のあるハーモニー。 * 「マグナム ミステリウム」・・・少年合唱の清らかな響き。 	<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数に偏りがあると予想される。その時はグループの分け方を改めて指示する。 ・同じ曲をいいと感じていても「いい」と感じる視点が違う時もあるので友人から学ばせる。 ・新しい視点で曲を見つめなおす。
<p>5分</p>	<p>6、まとめ</p> <p>人の声の魅力、声だけで音楽をつくる素晴らしさの再確認をする。</p>	